

発言内容	第4期中期目標等への対応（考え方）
第3回評価委員会（R5.10.27）	
<p>・基本項目に、SDGsの取組についても盛り込んでどうか</p> <p>（関連発言）</p> <p>・具体的にSDGsの取り組みを表現できないか</p>	<p>・基本目標（P1）、社会情勢の変化に的確に対応した大学づくりの項目（P3）に記載</p> <p>・なお、現在実施しているSDGsの取組も含め、具体には中期計画の中で表現を検討</p> <p>（基本目標） 大学を取り巻く状況は、DXやグローバル化の進展、SDGsなど、複雑化する社会や国際情勢の影響を強く受け急速に変容している。</p> <p>2. 社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり 公立大学法人島根県立大学は、情報化や産業のDX化、SDGs等の社会情勢の変化に伴う地域からの要請や、多様化する学生ニーズなどに柔軟に答えていく必要がある</p>
<p>「地域貢献」という表現について、地域や学生目線で表現方法が工夫できないか（「地域活性化」に置き換えができないか）</p>	<p>・中期目標は、県が、大学の方向性を大学に示すものであり、大学に求める対応としては、「地域貢献」の表現とするが、今後、計画等に限らず、地域・学生からの視点で記載が必要な場面では、表現ぶりについて工夫していく</p>
<p>・各キャンパスが独自の教育実践を行うということであれば、この書きぶりでもよいが、大学共通のカリキュラムポリシーを明確に記載する必要があるのではないか</p>	<p>・県立大学では全学共通の3ポリシーを設定している。カリキュラムポリシーでは、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の強化や、島根県の地域課題に精通し、自ら課題に対して向き合い、考え、課題解決に向けた行動力のある人材を育成することを目的としたカリキュラム編成を規定している。今後の社会情勢等を踏まえ必要に応じて変更を検討する。</p>
<p>・直近の中教審答申でも、持続可能性、国際情勢やエネルギー課題への対応が示されており、昨今の社会情勢を踏まえた変化を、大学教育の中にどう取り込むのか、今後の検討課題</p>	<p>・現状の課題認識として、基本目標（P1）及び、社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり（P3）の項に記載</p> <p>（基本目標） 大学を取り巻く状況は、DXやグローバル化の進展、SDGsなど、複雑化する社会や国際情勢の影響を強く受け急速に変容している。</p> <p>（2. 社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり） 公立大学法人島根県立大学は、情報化や産業のDX化、SDGs等の社会情勢の変化に伴う地域からの要請や、多様化する学生ニーズなどに柔軟に答えていく必要がある</p>

発言内容	第4期中期目標等への対応（考え方）
<ul style="list-style-type: none"> ・国際関係学部について、学部の魅力や、学内における学部の位置づけが分かりにくい ・魅力を明確化し、しっかりと広報、宣伝ができるとうい 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、学部完成を見据えて、国際関係学部の特色、魅力づくり、魅力の発信等について、検討しており、しっかりと周知・広報に努めたい
<ul style="list-style-type: none"> ・18歳人口減少という新たな課題も出ているので、それも視野に入れた入試制度改革が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者の受入れ（P5）に記載し、具体的な入試制度改革の方向、内容等については、中期計画等に記載 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>3 (1) ② ア 入学者の受入れ</p> <p>今後進んでいく少子化に対応しつつ、地域や高校生へ県立大学の特色や魅力への理解を促すため、求める学生像や、明瞭かつ特色ある学修内容、育成する人材像を広く発信し、入学者の確保に努める。</p> </div>
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の共感を生む情報の発信ができれば、県立大学の魅力や特徴について理解を促し、入学者の受け入れにもつながるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者の受け入れに向けた広報（P5）等に記載 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>3 (1) ② ア 入学者の受入れ</p> <p>今後進んでいく少子化に対応しつつ、地域や高校生へ県立大学の特色や魅力への理解を促すため、求める学生像や、明瞭かつ特色ある学修内容、育成する人材像を広く発信し、入学者の確保に努める。</p> </div>